



大 銀 杏

喜多市立慶徳小学校 学校だより
令和元年6月28日(金) 第5号
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】 ■かんがえる子 ■おもいやりのある子 ■たくましい子

子育ての「付け」は 思春期にやってくる～

赤ちゃんに母乳を飲ませるとき、最初は甘い乳糖が、そして、吸い終わるころには苦い脂肪が出てくるそうです。これが信号になっていて、苦い脂肪が出てきたら、「これで終わり」ということを乳児は学習するのだそうです。



乳児期のあとの幼児期はというと、今度はどのような形で食事を与えるかによって信頼関係が生まれてきます。三度の食事の量を決めて与えることで、欲望の限界を知るのです。この時期に、限界を設定せずに食べさせると、欲望をコントロールする力も育っていきません。子どもが欲しがると、朝からカップラーメンを与えたり、「おかず、これしかないの?」と言われれば、その子の好きなものばかりを作ってあげたりと、「子ども優先」の子育てをしていないか、考えてみたいものです。



子どもの言うがままに与えたり、または、はじめのうちは禁止していても結果的に押し切られてしまったりということが少なくありません。乳幼児期に適切な制限を経験させることがとても大切だと思います。思うようにいかない時にどうすればよいかをそれぞれの成長段階の中できちんと体験的に学ばせておきたいものです。そうでないと、児童期や青年期になって、様々な問題行動をとることになります。

子育ての「付け」は、思春期にやってくる。

7/2の「慶徳御田植祭」本番に向けて

本年3月に「国指定重要無形民俗文化財」となった慶徳御田植祭が、いよいよ来週火曜日に迫ってきました。子どもたちは、中丸会長様をはじめ多くの保存会の皆様方のご指導をいただきながら、これまで一生懸命に練習を重ねてきました。国指定を受けたことにより、今年と来年の2年間にわたって、祭りの準備や練習の様子、実際の踊り方や笛の指づかいなどを、記録映像として保存されることとなっています。24日に最後となる練習の様子を、プロの皆さんがおいでになり、その様子を録画していかれました。



慶徳小学校

検索

→ 学校での子どもたちの様子は随時ホームページにアップ中!!

